

Solan Big Thinkers

はじめての物語文「はなのみち」



国語の授業は物語文の学習に入りました。「はなのみち」というお話です。
まずは挿絵をもとに物語を予想するところから始めました。

「ここはだれのお家だろう」

これは第一場面の絵を見た子ども達のはてなです。だれかの家だったら、くまさんが何かを盗んでいることになるし、自分の家だったら何かを見つけたところだというのが子ども達の考え。

第二場面の絵を見て、それが解決します。

「(木の家に)「くま」って書いてある！」

自分の家でくまさんは何かを見つけたようだと分かってきます。

このような流れでストーリーを確認しました。すると、あることに気づく子が出てきます。

「(4の絵の) 家とかにね、葉っぱが生えてる」「花も咲いてる」

「じゃあ、春だ」

季節まで推測し始めました。

さて、国語の授業ですので、季節が春であるという証拠を文章から見つけ出す必要があります。これからの授業が楽しみです。

さて、明日から3連休です。ご家族の皆様、よい週末をお迎えください。

ちなみに…

小学1年生は「あ」「い」「う」など、1文字1文字の読み方・書き方を学習します。だから、最初のうちは文を見て、1文字ずつを拾いながら読むことになります。「は・な・の・み・ち」という感じです。

スラスラ読めるようになるためには、「言葉のまとまり」で読めるようになることが必要です。「言葉のまとまり」を一気に見ることができるようにならなければなりません。その手立ての1つは音読です。授業では、音読練習をする時間も作っています。